

平成 25 年 5 月 10 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 25 年 3 月期決算について

～コア業務純益、経常利益及び当期純利益、過去最高益を更新～

平成 25 年 3 月期の単体決算は、預貸金が順調に増加したことなどから、コア業務純益、経常利益及び当期純利益は、いずれも過去最高益を更新いたしました。

【単体決算概要】

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	前年同期比
コア業務純益	10,903	10,634	268
経常利益	9,949	7,006	2,942
当期純利益	7,757	7,382	374

【連結決算概要】

(単位：百万円)

	平成 25 年 3 月期	平成 24 年 3 月期	前年同期比
経常利益	10,095	7,377	2,718
当期純利益	7,763	7,710	53

■ 預貸金について

預金は、個人・法人預金とも順調な増加により、前年同期比 600 億円増の 1 兆 7,341 億円となりました。

貸出金は、中小企業貸出が順調に増加したことなどにより、前年同期比 293 億円増の 1 兆 2,793 億円となりました。

貸出先数は、お客様の本業支援に積極的に取り組んだ結果、過去最多の年間で 713 先増加となりました。

■ コア業務純益について

貸出金が上記のとおり順調に増加し、貸出金利が低下したものの資金利益がほぼ前年同期並を確保したことや経費削減により、本業の収益力を示すコア業務純益は、前年同期比 268 百万円増加の 109 億円となりました。

■ 経常利益及び当期純利益について

コア業務純益が順調に増加したことや信用コストの減少などにより、経常利益は 99.4 億円（連結 100.9 億円）、当期純利益は 77.5 億円（連結 77.6 億円）となり、それぞれ過去最高益を更新いたしました。

■ 自己資本比率について

自己資本比率は、単体 9.76%、連結 9.97%となりました。

■ 金融再生法開示債権比率について

金融再生法開示債権比率は、単体が 4.60%（前年同期比△0.72%）、当行と東和フェニックス㈱の合算が 4.81%（同△0.74%）となり、前年同期から改善が図られました。

以 上

平成 25 年 3 月期決算（単体）の要点は、以下のとおりです。

1. 預金・貸出金の状況

(単位：億円、%)

	平成25年3月期	平成24年3月期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
預 金	17,341	16,740	600	3.5
貸 出 金	12,793	12,499	293	2.3
預 金 利 回 り	0.04	0.06	△0.02	—
貸 出 金 利 回 り	1.85	1.92	△0.07	—

2. 損益の状況

■平成 25 年 3 月期業績（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	平成25年3月期	平成24年3月期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
資金利益	30,208	30,300	△ 92	△ 0.3
コア業務純益	10,903	10,634	268	2.5
経常利益	9,949	7,006	2,942	42.0
当期純利益	7,757	7,382	374	5.0

■信用コストの推移

(単位：億円)

年度	年間	上期	下期
平成21年度	6	△ 12	18
平成22年度	8	△ 13	21
平成23年度	25	△ 2	27
平成24年度	13	0.7	13

3. 自己資本比率（国内基準）の状況

【単体】

	平成25年3月期	平成24年3月期
自己資本比率	9.76%	9.84%
Tier1比率	8.98%	8.55%

【連結】

	平成25年3月期	平成24年3月期
自己資本比率	9.97%	9.95%
Tier1比率	9.18%	8.65%

4. 金融再生法開示債権比率の状況

【単体】

	平成25年3月期	平成24年3月期
金融再生法開示債権比率	4.60%	5.32%

【当行と東和フェニックス(株)の合算】

	平成25年3月期	平成24年3月期
金融再生法開示債権比率	4.81%	5.55%

以 上